

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	矢ノ沢地籍ザゼン草の里木道・遊歩道整備事業
事業主体 (連絡先)	有賀林野株式会社 代表取締役 小泉 吉彦 0266-58-2020
事業区分	(5) 環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,210,800 円 (うち支援金: 2,877,000 円)

事業内容

- 園内木道(86m)の回収と住民80名参加による旧木道老朽化木材の撤去搬出。
 - 豊田小学校の児童が、木道散策で自然と接し希少植物の観察を通じ森に興味をもってもらう活動。
- 【支援金対象外事業】
- ザゼン草祭りの3月末実施し1,200名の来園者。
 - 園内周辺の鹿猪対策用ネットの点検(通年実施)
 - 園内草地の草刈り・間伐作業(5月・7月・10月)
 - 駐車場を中心とした美化活動(ゴミ拾い)
 - カブト虫の産卵場所を設置する。



【目標・ねらい】

- ①ザゼン草の里の木道整備
- ②地域住民が地域活動に参加する
- ③地域の子供の植物観察
- ④ザゼン草公園へ来園者を呼ぶ

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 園内木道(86m)の旧木道老朽化木材の搬出作業を住民208名を4班に分けボランティアにて参加頂き処理を行った。
- 豊田小学校3年生60名と教師4名にて、ザゼン草公園内の木道を散策して、パンフレットの植物を観察して多くの花の種類を学んだ。
- 近隣のソーラー事業地見学会を豊田小学校5年生の58名と実施。

※自己評価【 A 】

【理由】

1. 多くの地域住民参加の活動。
2. 子供が植物観察を行い、好評であった。
3. 新設木道が計画通り遊歩道と接道できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年の木道整備により、園内の遊歩道から既存木道への接道ができたことで、公園内を安全に散策できる。

次年度以降は、老朽化の木道と遊歩道の整備を行い、園内を一周周遊できるように整備を進めることで、老若男女が安全に且つ自然と親しむ環境整備が図れ植物観察に興味をもって頂ける。

今後は、地域の子供たちが更に興味を持って活動して頂く様に、小鳥の巣箱を有賀林野園と豊田小学校2年生で作成したので木道に隣接する立ち木に巣箱の取り付けをすることで、小鳥の観察にも結び付けて現地を何度も訪れる機会としたい。

また、園内を流れる一級河川上野川の源流域までの貴重な水路の整備も合わせて進めて、親水エリアや小水力発電の水車の設置を行い、近隣のソーラー発電所を含めて自然エネルギーに関心を持ってもらう活動へ繋げる。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある